

ささのだい ニュース

Vol. 2

発行：笹野台新報社
社長：近藤 和義
平成24年9月10日

7月28・29日 2年ぶりの夏まつり。天候にめぐまれて暑かったですね。各自治会からのお神輿・山車、盆おどり（はるか会中心）、各団体・有志による夜店、老いも若きも大勢集まり大変にぎやかでした。希望が丘中学校のボランティア延べ22人が、テント設営・場内放送・環境整備に大活躍、また多くの方にご参加頂き盛りあがりしました。厚く御礼申し上げます。今回のオリンピックは団体戦の活躍が目立ちました。我が笹野台地区も、住みよい街づくりに向けて、皆様のチームワークで頑張りましょう。 夏祭り 実行委員会



笹小ソーラン



PM8:00 全景



夜店はどこも行列ができました



笹野台小学校 ふれあい給食会（6月7日）

各クラス4～5名ずつ地域の方をお招きし、クラスごとに工夫を凝らして計画し準備したプログラムにしたがって、歌を歌ったり、ゲームを楽しんだり、プレゼントを渡したりして、地域の方との交流を深めました。また、給食を一緒に食べながら、いろいろな話題で会話を楽しんでいました。子どもたちも地域の方も瞳がきらきら輝いており、笑顔で過ごしていたのが印象的でした。

このような普段なかなか接することのない方との交流は、子どもたちにとっては貴重な時間であり、思いやりの心や感謝の気持ちをどう表現すればよいかを学ぶよい機会となりました。

お越しくださいました方々、どうもありがとうございました



笹野台小 副校長 大嶽 賢司

旭区タウンミーティング（笹野台地区）（7月7日） 笹野台会館

旭区から濱区長以下11名、笹野台地区から高橋連合自治会長、各自治会長他18名が出席して、地域から出された問題について意見交換を行いました。

- 「議題」
1. 災害時要支援の問題
 - ①守秘義務とプライバシーの問題
 - ②高齢者見守り事業との関連
 - ③誰がたすけるのか
 2. 地域防災拠点の運営と問題点
 - ①備蓄品の不備
 - ②拠点要員の不足
 - ③避難場所の諸問題

について地域と行政の双方で意見交換を行い、問題・課題の共有化を図りました。



「濱区長のコメント」

- これからの行政の役割として、地域活動支援と助成が重要と考えています。
- 災害の状態により支援の内容は変化しますが、極力細かな支援体制をとりたい。
- 災害時は自らを守ることが重要、また、日頃から人間関係を構築して絆づくりが大切です。

尚、上記議題以外に、旭区の区政方針説明がありました。（詳細は「広報よこはま」あさひ区版の6月号をご覧ください）

今宿サマーフェスタ（8月18・19日）

今宿地区センターで、笹野台小学校のジュニアボランティア21名が、ミニ縁日で大活躍、たこ焼き・ヨーヨーつり・ポップコーン・バルーンアート等の販売を行いました。小さい子どもからお年寄りまで、たくさんのお客さんが買ってくれました。



たこ焼きの味はベリーグッド!!

夏休み工作教室（8月25日）

笹野台青少年指導員連絡協議会主催による、小学生を対象にした工作教室が笹野台会館で開かれました。ねんど細工・竹細工・マカロニ細工・紙細工等に、37数名がチャレンジしました。幼児&お母さん、青指OBも参加。 青指会長 土屋



出来栄は、・・・お母さんに見せよっと。
最後のスイカ割りも楽しかったネ

地震災害に備えましょう — 笹野台地区では火災が一番恐ろしい

日頃の備え

- ・家の耐震化や家具の転倒防止措置をしましょう
- ・消火器、住宅用火災報知器をつけましょう
- ・隣近所との良好な人間関係を構築しましょう



備蓄品の準備

- ・一般的には3日分と言われていますが、**5日分**は準備しましょう。
- 家庭への配給はありません

地震が起きたら ～ 起きた後

- ・自分の身は自分で守る
- ・近所での安否確認—隣近所の協力が大きな力になります
- ・むやみに避難しない — 自宅が倒壊や火災の危険が無いときは自宅で過ごす
- ・正しい情報の入手（伝達）— 停電時でも使えるラジオを用意しましょう（災害伝言ダイヤルを利用）

避難する場合は

- ・ブレーカを落としましょう（通電火災防止）
- ・ヘルメット（帽子）をかぶる、長袖、長ズボンを着用しましょう（素材は綿）
- ・底の厚い靴を履いて、手袋（軍手でも可）を着用しましょう
- ・みんなで避難します（単独行動はしない）
- ・地域防災拠点に避難します（広域避難場所には、飲み水や食料は無い）



旭消防団第四分団第六班の紹介（笹野台地区）



7月2日 旭区消防操法技術訓練会が開催され、第4分団の代表として我が第六班（笹野台地区）、遠藤・熊谷・金沢・青木の4隊員が参加し、12年ぶりに **最優秀隊** に選ばれました。

旭消防団は“自らの郷土は自ら守る”という精神で、地域住民による“災害防止・被害軽減”を任務とした社会に奉仕する我国唯一の組織です。短時間での被害低減のために日頃から装備点検・操法訓練、さらに、季節に合わせた訓練、火災予防週間・

歳末警戒巡回、また地域の行事参加、研修講習などの活動をしています。

団員募集

笹野台六班は女性団員を含めて19名です。近年各地で災害が多くなっています。自分たちの家族、地域を守るため、一緒に頑張ってくれる仲間が必要です。どうか地域の皆様の力を貸してください。 消防団第四分団第六班班長 吉田 光宏



地域主要行事日程

- 体育祭 9月29日（日） 雨天：30日
笹野台小 9：00～15：00
- 敬老会 10月28日（日）・・・日時注意
笹野台小 10：00～12：30
- 防災訓練 11月4日（日） 雨天：11日
笹野台小 10：00～12：00
- 福祉講演会 12月1日（土）
笹野台会館 14：00～16：00

社協からのご案内

- ・庭木剪定、草取りボランティア募集
需要が多く、人員不足です。
是非ご協力を
- ・H24年度賛助会費のご協力
ありがとうございました。
148万2207円でした。
大切に使用させていただきます。



住民の広場（今回は富士見の高橋さん、中央の河上さんです）



建築廃材、雑木林倒木を用いています

昔、国民学校五年のときに横浜大空襲に遭い、東北へ疎開。今は"サンデー毎日"の暮らし。"タイクツゴン"怪獣に負けないように手指に力をいれて彫っています。

出来栄を自賛しながら杯を傾けて悦に入る。仕事と若さはいずれ失われます。世間体にこだわらず常に好奇心いっぱい頭につかい手指を動かしてお洒落で素敵に暮らしたいですね。

富士見ヶ丘自治会 高橋しげお



木で竹ふうを作りファスナーのほころに棲むふくろう



木彫り、DIY等趣味が多彩で、回顧録（空襲、疎開～退職）を作成出版されています。78歳で益々お元気な方です。記：編集委員



月明かりに浮かぶ富士

私は年間を通して富士山を多く写しています。この場所は、江ノ島と稲村ガ崎の間に富士山が望めます。太陽と富士山、月と富士山を撮るのに何度も通った場所。ほとんどが、富士山が霞んで見えなかったり、太陽や月が雲の中です。

そんな中、やっと撮らせてもらった1枚です。

江ノ島に向かって月の光芒、画面枠外上のところに月がある状態でシャッターを切っています。

中央自治会 河上 格

編集後記

残暑が続きますが、朝夕すこし過ごし易くなりました。追分（矢指）市民の森も、向日葵から百日草の季節に！！みなさん、お出かけになりませんか。

夏まつりを通して、絆の強い素敵な地域を感じられました。これから体育祭、敬老会と地域のメイン行事や各種団体によるイベントが企画されています。タイムリーに掲載し、皆様の情報源と又思い出の一助になるよう努めます。

編集委員：大田 太田 辻 西山



撮影：8/20 大田編集委員